

学校案内

SCHOOL GUIDE BOOK



TATEBAYASHI KANGO



邑楽館林医療企業団 公立館林高等看護学院

学院長挨拶



現代の日本では、少子高齢化が進み、医療の高度化と共に、在宅医療の推進、チーム医療が重視されています。看護職は、保健医療福祉チームの一員として働く場や役割・責任の範囲が拡大しています。本学院では、こうした社会の期待に応えられるよう、看護教育を実践しています。本学院の看護学実習は、同じ設置主体の公立館林厚生病院をはじめとする邑楽郡・館林市地域や近隣の医療機関や施設で行います。また、授業でも実習施設から講師をお招きし、実践に役立つ看護を学ぶことができます。教員は、公立館

林厚生病院での豊富な臨床経験を持っており、学生一人ひとりを大切に、丁寧に指導いたします。どうかご安心ください。

このような恵まれた環境の中で、幅広い視野と総合的なアセスメント力を身につけ、長く看護職として活躍できる人材を育成いたします。

本学院の南の窓からは遠く富士山が、北の窓からは上毛三山のひとつでもある赤城山が望めます。春にはつつじが咲き誇る自然に囲まれたこの地で、職員一同あなたが夢を叶える支援をいたします。

CONTENTS

学院長挨拶	2
学院の概要	3
教育内容の構造図	4
公立館林高等看護学院が選ばれるポイント	5
ポイント1 邑楽郡・館林市地域の1市5町によって開設された、公立の看護学校	5
ポイント2 その人らしく生活できることを尊重し、さまざまな状況に応じた臨床実践力が身につく統合カリキュラム	6
ポイント3 臨床経験豊富な講師陣による少人数教育	7
キャンパスカレンダー	10
主な実習先病院	11
卒業後取得できる資格	11
教員×学生	11
在校生のメッセージ	12
ポイント4 公立館林厚生病院を中心に地域で幅広く活躍する卒業生	13
修学資金・奨学金制度	15
学生納付金	15

ひとりひとりの学生を大切に 夢の実現を

学院の概要

公立館林高等看護学院の歩み

公立館林高等看護学院は、看護師を養成する公立の機関です。昭和39年に館林市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町の1市5町により、地域医療の充実をはかるため、邑楽館林医療事務組合が組織され、館林厚生病院が設立されました。そして昭和47年に優秀な看護師を養成するため、当学院が開校しました。

急速に進む高齢化や生活習慣病の増加、また医療の高度化・専門化に対応するため、平成9年4月から現在地に新築移転し、定員を90人(各学年30人)から120人(各学年40人)に増員して、看護師の安定した供給を図るものとなりました。さらに平成12年4月より専修学校の許可を得て、多くの優秀な看護師を輩出しています。卒業生は令和3年3月現在1505名を数え、邑楽郡・館林市地域はもとより全国各地で活躍しております。

公立館林高等看護学院の教育目的

- ・豊かな人間性を養い、看護への探求心と向上心を身につけ研鑽し続ける人材を育成する。
- ・あらゆる健康レベルの対象を、生活体として捉え、最期までその人らしく生を全うするための看護基礎能力を育成する。
- ・邑楽郡 館林市地域で生活する人々の特性を理解し、保健医療福祉に貢献できる人材を育成する。
- ・地域住民の健康の保持・増進、最良な医療を提供できる看護師を育成する。

公立館林高等看護学院の教育理念

人間の生命と人格を尊重し、社会人としての人間形成をめざすとともに、看護に必要な能力を育成する。そして豊かな人間性を養い、邑楽郡・館林市地域の特性に関心を持ち、地域の特徴や医療の動向を多角的に捉え、看護への探求心と向上心を身につけ研鑽し続ける人材を育成する

アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

本学院は教育理念・教育目的・教育目標に基づき、以下の質を持った学生を求めています。

1. 人に関心を寄せ、思いやりの心をもって人と関わることができる人
2. 他者の話を聴くことができ、自分の考えを伝えることができる人
3. 目標に向かって主体的に学び続けることができる人
4. 看護を通して地域社会に貢献しようという意欲を持っている人

教育内容の構造図



基礎分野

科学的思考の基礎

■学習の基礎Ⅰ・教育学 ■学習の基礎Ⅱ・論理的思考 ■学習の基礎Ⅲ・情報管理① ■学習の基礎Ⅳ・情報管理② ■学習の基礎Ⅴ・主体的学習

人間の生活・社会の理解

■外国語 ■邑楽郡・館林地域の理解 ■人間の発達と社会Ⅰ(人間と社会) ■人間の発達と社会Ⅱ(家族と社会) ■人間関係Ⅰ(人間関係の基礎) ■人間関係Ⅱ(カウンセリング) ■人間と健康 ■健康と科学

専門基礎分野

人間の構造と機能

■人間の構造と機能Ⅰ(基礎知識・生化学) ■人間の構造と機能Ⅱ(呼吸と血液のはたらき・血液の循環とその調整) ■人間の構造と機能Ⅲ(栄養の消化と吸収) ■人間の構造と機能Ⅳ(情報の受容と処理・身体への支持と運動) ■人間の構造と機能Ⅴ(内臓機能の調整と尿の生成・生殖発生と老化のしくみ)

疾病の成り立ちと回復の促進

■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ(病理総論) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(病原体・感染症) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(診断過程・臨床検査・放射線療法・手術療法・栄養総論・薬理総論・リハビリ) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(循環・呼吸) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ(消化・吸収・排泄・内分泌代謝) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(脳神経・運動器・感覚器) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅶ(免疫機能・血液・腎・生殖・歯科口腔) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅷ(さまざまな対象への回復促進:小児) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅸ(さまざまな対象への回復促進:精神) ■疾病の成り立ちと回復の促進Ⅹ(さまざまな対象への回復促進:臨床判断能力①)

保健医療福祉システム

■保健医療論 ■健康支援にかかわる保健医療福祉チーム ■公衆衛生 ■社会福祉 ■関係法規 ■医療サービスと経済

専門分野

基礎看護学

■看護倫理 ■あらゆる健康レベルの人々への看護(経過別看護) ■看護の機能と役割Ⅰ(看護学概論・看護理論) ■看護技術Ⅰ(看護技術とは・安全安楽を守る技術) ■看護技術Ⅱ(アセスメント技術・観察・コミュニケーション技術) ■看護技術Ⅲ(日常生活援助技術Ⅰ 環境・活動と休息) ■看護技術Ⅳ(日常生活援助技術Ⅱ 衣・清潔) ■看護技術Ⅴ(日常生活援助技術Ⅲ 食・排泄) ■看護技術Ⅵ(与薬の技術・症状・生体機能管理技術・診療・検査・処置の介助技術・創傷管理技術) ■看護技術Ⅶ(救急)

地域・在宅看護論

■地域在宅概論 ■地域在宅看護方法論Ⅰ(地域包括システムにおける多職種連携) ■地域在宅看護方法論Ⅱ(地域・在宅看護技術) ■地域在宅看護方法論Ⅲ(さまざまな状況にある在宅療養者の看護) ■地域・在宅看護方法論Ⅳ(看護過程) ■地域・在宅看護論実習Ⅰ(地域包括ケアシステムにおける多職種連携) ■地域・在宅看護論実習Ⅱ(多様な療養生活における看護)

成人看護学

■成人看護学概論 ■成人看護学方法論Ⅰ(急性期看護) ■成人看護学方法論Ⅱ(回復期看護) ■成人看護学方法論Ⅲ(慢性期看護) ■成人看護学方法論Ⅳ(終末期看護) ■成人看護学方法論Ⅴ(看護過程) ■成人看護学実習Ⅰ(急性期看護) ■成人看護学実習Ⅱ(回復期看護) ■成人看護学実習Ⅲ(慢性期看護)

老人看護学

■老人看護学概論 ■老人看護学方法論Ⅰ(健康障害がある高齢者の看護) ■老人看護学方法論Ⅱ(看護過程) ■老人看護学実習

小児看護学

■小児看護学概論 ■小児看護学方法論Ⅰ(健康障害を抱える子どもと家族の看護) ■小児看護学方法論Ⅱ(看護過程) ■小児看護学実習

母性看護学

■母性看護学概論 ■母性看護学方法論Ⅰ(妊娠・分娩および新生児に関する看護) ■母性看護学方法論Ⅱ(看護過程) ■母性看護学実習

精神看護学

■精神看護学概論 ■精神看護学方法論Ⅰ(精神看護学のベーシックフレーム) ■精神看護学方法論Ⅱ(看護過程) ■精神看護学実習

看護の統合と実践

■看護の機能と役割Ⅱ(看護管理・多重課題を伴う臨床判断能力③) ■国際化と看護 ■看護研究Ⅰ(看護研究の基礎) ■看護研究Ⅱ(看護研究の実践) ■さまざまな状況における看護(医療安全・災害看護) ■看護の統合と実践実習

公立館林高等看護学院が選ばれるポイント

- ポイント1** 邑楽郡・館林市地域の1市5町によって開設された、公立の看護学校
- ポイント2** その人らしく生活できることを尊重し、さまざまな状況に応じた臨床実践力が身につく統合カリキュラム
- ポイント3** 臨床経験豊富な講師陣による少人数教育
- ポイント4** 公立館林厚生病院を中心に地域で幅広く活躍する卒業生

ポイント

1

邑楽郡・館林市地域の1市5町によって開設された、公立の看護学校

キャンパス紹介

学校生活の舞台となるキャンパスです。同じ目標を持つ仲間たちと切磋琢磨しながら学ぶことのできる環境です。外には四季折々の花が咲く美しい学院です。



①玄関 ②図書室



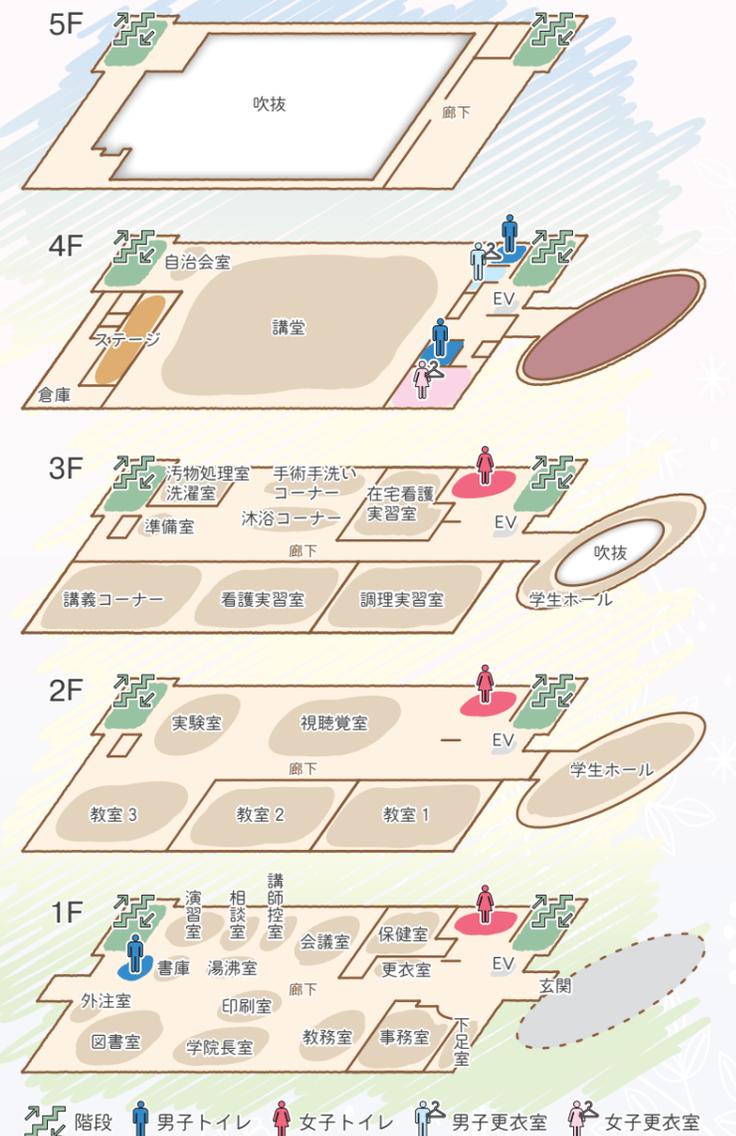
③教室 ④学生ホール



⑤演習室 ⑥沐浴コーナー ⑦講義コーナー



⑧実習室 ⑨講堂



階段 男子トイレ 女子トイレ 男子更衣室 女子更衣室

その人らしく生活できることを尊重し、さまざまな状況に応じた臨床実践力が身につく統合カリキュラム

公立館林高等看護学院 教育目標

1. 生命の尊厳とその人らしさを尊重できる高い倫理観と豊かな人間性を養う。
2. あらゆる健康レベルの多様な価値観を認識し、科学的根拠に基づいた看護を実践するための看護基礎能力を養う。
3. 邑楽郡・館林市地域の特性を考慮し、保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多職種と連携・協働する基礎能力を養う。
4. 社会のニーズの多様化に関心を持ち、看護への探求心と向上心を身につけ研鑽し続ける能力を身につける。

カリキュラム説明

1年生		単位	時間	2年生		単位	時間	3年生		単位	時間
基礎分野	学習の基礎Ⅰ・教育学	1	15	基礎分野	外国語	1	15	専門分野	地域・在宅看護実習Ⅰ	1	45
	学習の基礎Ⅱ・論理的思考	1	15		健康と科学	1	15		地域・在宅看護実習Ⅱ	2	90
	学習の基礎Ⅲ・情報管理①	1	15		小計	2	30		成人看護学実習Ⅰ	2	90
	学習の基礎Ⅲ・情報管理②	1	15	専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復促進Ⅸ	1	20		成人看護学実習Ⅲ	2	90
	学習の基礎Ⅳ・主体的学習	1	15	疾病の成り立ちと回復促進Ⅹ	1	20	老年看護学実習		2	90	
	人間の発達とこころ	1	30	保健医療論	1	15	母性看護学実習		2	90	
	人間の発達と社会Ⅰ	1	15	小計	3	55	小児看護学実習		2	90	
	人間の発達と社会Ⅱ	1	15	看護倫理	1	15	精神看護学実習		2	90	
	人間関係論Ⅰ	1	15	看護技術Ⅵ	2	45	看護の機能と役割Ⅱ		1	30	
	人間関係論Ⅱ	1	15	看護技術Ⅶ	1	20	看護研究Ⅱ		1	20	
	人間と健康	1	15	看護技術Ⅸ	1	15	看護の統合と実践実習		2	90	
	邑楽郡・館林市地域の理解	1	15	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	小計	19	815		
	小計	12	195	地域・在宅看護方法論Ⅱ	1	20	3年次合計	19	815		
	専門基礎分野	人体の構造と機能Ⅰ	1	30	地域・在宅看護方法論Ⅲ	2	45				
人体の構造と機能Ⅱ		1	30	地域・在宅看護方法論Ⅳ	1	30					
人体の構造と機能Ⅲ		1	30	成人看護学方法論Ⅰ	1	30					
人体の構造と機能Ⅳ		1	30	成人看護学方法論Ⅱ	1	30					
人体の構造と機能Ⅴ		1	30	成人看護学方法論Ⅲ	1	30					
人体の構造と機能Ⅵ		1	15	成人看護学方法論Ⅳ	1	30					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅰ		1	15	成人看護学方法論Ⅴ	1	30					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅱ		1	30	老年看護学方法論Ⅰ	2	30					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅲ		1	30	老年看護学方法論Ⅱ	1	15					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅳ		1	30	小児看護学方法論Ⅰ	2	45					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅴ		1	30	小児看護学方法論Ⅱ	1	15					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅵ		1	30	母性看護学方法論Ⅰ	2	60					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅶ		1	30	母性看護学方法論Ⅱ	1	15					
疾病の成り立ちと回復促進Ⅹ		1	15	精神看護学方法論Ⅰ	2	45					
健康支援にかかわる保健医療福祉チーム		1	15	精神看護学方法論Ⅱ	1	15					
公衆衛生		1	30	国際化と看護	1	15					
社会福祉		1	30	看護研究Ⅰ	1	20					
関係法規		1	15	さまざまな状況における看護	1	30					
医療サービスと経済		1	15	成人看護学実習Ⅱ	2	90					
小計	19	480	小計	33	825						
専門分野	あらゆる健康レベルの人々への看護	1	15	2年次合計	38	910					
	看護の機能と役割Ⅰ	1	30								
	看護技術Ⅰ	1	15								
	看護技術Ⅱ	2	45								
	看護技術Ⅲ	2	45								
	看護技術Ⅳ	1	30								
	看護技術Ⅴ	1	30								
	看護技術Ⅶ	1	30								
	基礎看護学実習Ⅰ	2	90								
	地域・在宅看護概論	1	15								
	地域・在宅看護方法論Ⅰ	1	30								
	成人看護学概論	1	15								
	老年看護学概論	1	20								
	小児看護学概論	1	15								
	母性看護学概論	1	15								
	精神看護学概論	1	15								
小計	19	455									
1年次合計	50	1130									

総合計 107単位 2855時間

臨床経験豊富な講師陣による少人数教育

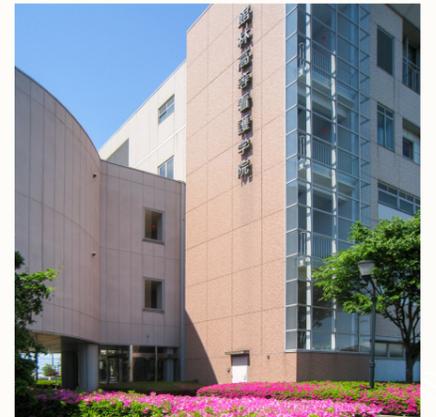
学院長が看護師だからこそできる人づくり教育

学校運営も看護師視点にたって

人とひとが関わる看護教育について現場に足を運んで教育しています。当学院の教育カリキュラムは高い倫理観と人間性を養うことができるように設計されており、3年間を通して生命の尊厳とその人らしさを尊重できる人材を教育しています。



教職員は公立館林厚生病院と定期的に人事交流



講義・演習・実習と現場に精通した教員 臨床指導者が指導

講義

学生は、看護師に必要な専門的知識を日々学んでいます。

地域社会の動向を理解し、疾病の成り立ちと回復促進、看護方法論などの多数の科目を経験豊富な現場の医師と看護師等の専門職が講義を実施しています。

講義は1コマ90分の授業です。進歩する医療に対応するため、看護師は幅広く、高度な能力が求められています。そのため、看護師としての基礎を築く看護学校での学びはとても大切です。



演習

看護師として必要な専門的知識を基に看護技術の演習を行っています。

例えば、患者様の身体を拭く清拭や、患者様の血圧・脈拍の変化を観察する演習を行っています。

学生同士で、看護師役・患者役になって実践し、学生の実践力や思考力の向上を図っています。さらに当学院は基礎看護学の単位数が多く、シミュレーション等を活用し、臨床実践能力が身につく演習を実施しています。



実習

講義や演習を通して習得した知識や技術を実際の患者実践に適用させて目標達成を目指します。

1年次には看護技術実習を通し、科学的根拠に基づいた看護技術の重要性や個別性に合わせた看護の必要性を学習します。

2年次には看護過程を用いて、対象の健康障害や健康の段階、生活背景、価値観などに合わせた看護の必要性の理解し、患者の目標達成を目指す看護の必要性を学習します。

2年次後半から開始となる領域別実習では既習の知識・技術を適応させ、各領域別の対象に対して、さまざまな状況に応じた看護実践を行うための知識・技術・態度を習得します。

実習は患者様との関わりを通して、大きな達成感や看護師としての目標が深まり、充実した日々となることでしょう。



キャンパスカレンダー

- 4月 入学式
交流会
学校説明会①
- 5月 学校説明会②
- 6月 オープンキャンパス①
- 7月 オープンキャンパス②
- 8月 夏季休暇
オープンキャンパス③
- 9月 学校説明会③
- 10月 基礎看護学実習II
- 11月 宣誓式
- 12月 冬季休暇
- 1月 基礎看護学実習I
- 2月 領域別実習開始
- 3月 卒業式

入学式



同じ夢をもつ仲間たちが、これから3年間ともに学んでいく始まりの日です。

学校説明会



本学院への入学を考えている方や家族を対象に、当学院の特徴を詳しく説明します。

また、地域で活躍する卒業生が看護師への道について紹介してくれます。

オープンキャンパス



本学院への入学を考えている方や家族を対象に、看護学生と一緒に体験を通して当学院を紹介します。

宣誓式



学生一人ひとりが、ナイチンゲールの灯を受け継ぎ、看護師としての第一歩を踏みだします。

卒業式



国家試験も終わり、学院生活の締めくくりです。それぞれの道へと巣立っていきます。

主な実習先病院

- 邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院
- 佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院
- 日本赤十字社 足利赤十字病院
- 桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院
- SUBARU健康保健組合 太田記念病院
- 医療法人赤城会 三枚橋病院

卒業後取得できる資格

1. 看護師国家試験受験資格
2. 保健師学校・助産師学校および養護教諭養成課程の受験資格
3. 大学編入学資格
4. 専門士(医療専門課程)の称号を付与
5. 国家公務員採用II種試験受験資格

看護師という夢を叶えられるようサポートしています

学生



学院では、少人数教育を通じて多くの知識や技術を講義や演習、実習で学びます。看護師だけではなく、様々な職種の方々の講義を受け、学習への理解を深めるとともに、医療現場に関わり、看護の魅力を実感することができています。経験豊富な先生方は、学生に親身になって指導をしてくれ、心の支えとなっています。

(3年生:Nさん 群馬県立太田東高等学校出身)

教員



公立館林厚生病院で看護師として働いていくなかで、学校で学んだ知識や技術は基礎になっていると感じました。今は教員として、授業や実習を通して看護の素晴らしさを伝えるとともに学生自身が自分で考えて行動できるように教育に取り組んでいます。学生の皆さんが看護職として活躍できるように応援しています。

(教務主任)

在校生のメッセージ



2年生 Tさん 群馬県立館林女子高等学校出身

ひとりひとりの学生としっかり向き合ってくれる

私は親族に看護師として働いている人が多いことから看護師の仕事に興味を持つようになりました。そして学校説明会に参加した際に、先生に質問しやすい環境があり学習に専念できると感じ、入学を決めました。実際に入学してみて、先生方がひとりひとりの学生としっかり向き合ってくれるというのを肌で感じています。また分かりやすい指導により実践的な技術を習得することができます。授業は学院の先生以外にも、外部の講師から専門的な知識を学ぶことができるので分野別に知識を深められると感じました。

授業は高校の時と比べて専門的なことを学ぶので大変ですが、クラスメイトと協力して日々勉強しています。技術練習では実習に向けて必要な技術を練習しています。休日には友達と遊びに行ったり、テスト前には一緒に勉強したりなど楽しい学校生活を送っています。勉強は大変ですが、今まで分らなかったことが分かったり看護の技術が身についていくため、とても楽しいです。皆さんも公立館林高等看護学院で同じ目標に向かって一緒に看護師を目指しましょう。



3年生 Oさん 群馬県立西邑楽高等学校出身

知識や技術を学ぶだけでなく、支え合いや成長を共有できる

私は身近に医療関係者が多く幼いころから医療に興味がありました。特に、看護師である母から仕事の大変さややりがい、患者さんとの触れ合いの中で感じる楽しさなど、様々な話を聞くうちに看護に興味を持つようになりました。そして、実習を通し人に寄り添い、直接的にサポートできる看護の仕事に魅力を感じ、自分も看護師として患者さんの支えになりたいと思うようになりました。

この学院は、外部講師の授業もあり、技術練習に必要な物品も揃っていて学びの環境が非常に充実しています。また看護を語る会や交流会、ホームカミングデーなど先輩との交流の機会があり、効果的な勉強方法や実習に役立つアドバイスを直接教えてもらえるため、不安を軽減しながら目標に向けて進むことができます。そして、先生方が真摯に指導してくれたり、的確なアドバイスをしてくれるため、自分の成長を実感しやすく、モチベーションが高まります。同じ目標を持つ仲間たちと励まし合える環境も大きな魅力です。辛い時にはお互いに支え合い、成功を共有できる仲間の存在が学びの原動力になります。看護学校は知識や技術を学ぶだけでなく、支え合いや成長を共有できる場であることを強く感じています。皆さんも公立館林高等看護学院で一緒に学びましょう!



3年生 Hくん (群馬県立太田東高等学校出身)

同じ夢に向かって頑張るクラスの仲間がそばで支えてくれる

私は大学卒業後、介護職としての経験を積む中で、より専門的な医療知識を学び、より多くの人々を支えるために看護師という職業に魅力を感じるようになりました。自分ができることを広げ、専門性を高めたいと考え、公立館林高等看護学院に進学を決めました。

私たちの学校は、教員が親身になって指導してくれ分からないことがあれば、すぐに相談ができ解決に向けて丁寧にサポートしてくれる環境が整っています。また、辛い時には、

教員や同じ夢に向かって頑張るクラスの仲間がそばで支えてくれます。また嬉しいことがあれば、それを自分のことのように喜んでくれる仲間に出会えます。専門的な知識や技術を取得し、それを実習で活かしていくことは簡単なことではなく、3年間の中で多くの壁にぶつかるかもしれませんが、それでも課題やテスト、実習など大変な日々の中には、自分の成長を感じられる喜びや達成感が必ずあります。私は、実習の際にケアを提供した患者さんが明るい表情を見せていたり、前向きな言葉をかけてくださることがありました。その表情や言葉を受けた時、自分の看護が患者さんの回復過程に影響していると実感し、とても嬉しく思いました。これからは、現状に満足することなく、今後も成長を続けていきたいと考えています。一緒に学び、夢に向かって頑張りましょう!



ポイント 4

公立館林厚生病院を中心に地域で幅広く活躍する卒業生

卒業生の主な就職・進学状況

- 群馬県**
 - 公立館林厚生病院
 - 慶友整形外科病院
 - 新橋病院
 - 館林記念病院
 - 桐生厚生総合病院
 - 太田記念病院
 - IMS太田中央総合病院
 - 群馬県立がんセンター
 - 小児医療センター
 - 群馬大学医学部付属病院
 - 前橋赤十字病院
 - 伊勢崎市民病院
 - 高崎総合医療センター
 - 利根中央病院
 - 群馬中央総合病院
- 栃木県**
 - 佐野厚生総合病院
 - 足利赤十字病院
 - 佐野市医師会病院
 - 佐野市民病院
 - 自治医科大学付属病院
 - あしかがの森足利病院
- 茨城県**
 - 古河赤十字病院
- 埼玉県**
 - 羽生総合病院
 - 行田総合病院
 - 新久喜総合病院
 - 済生会栗橋病院
 - 埼玉県立病院
 - さいたま赤十字病院
 - 深谷赤十字病院
 - 上尾総合病院
 - さいたま市立病院
 - 東松山市立病院
 - 獨協医科大学埼玉医療センター
 - 獨協医科大学越谷病院
 - 自治医科大学付属さいたま医療セン
- 東京都**
 - 東京医科大学病院
 - 東京都健康長寿医療センター
 - 東京西徳洲会病院
 - 武蔵野赤十字病院
 - 順天堂大学医学部付属練馬病院
 - 豊島病院
 - 国立がん研究センター
- 神奈川県**
 - 相模原協同病院
 - 小田原市立病院
 - 聖マリアンナ医科大学
- 千葉県**
 - 千葉西総合病院
 - 千葉県習志野病院
- 進学**
 - 桐生大学
 - 千葉大学看護学部看護学科
 - マロニエ医療福祉専門学校
 - 新潟大学 養護教諭特別別科
 - 栃木県立衛生福祉大学保健学科

地域で幅広く活躍する卒業生からのメッセージ



Hさん(43回生) 勤務先:公立館林厚生病院

一人でも多くの人の役に立てるように取り組んでいます

私は、幼い頃、医療ドラマを見て看護師に憧れました。そして、中学生の時、曾祖父を自宅で介護しており、訪問看護師が私たちにもできるケアを教えてください優しい声をかけてくれました。その姿を見て看護師になろうと決意しました。

学生時代は、専門的な言葉も多く患者さんとの関わりが難しい実習など多くのことを学ぶことができました。大変なこともありましたが、グループメンバーと共に実習を乗り越え達成感を味わうことができ思い出です。

現在、私は、循環器内科の病棟で勤務しています。同じ疾患で入院を繰り返す方や働き盛りで突然発症してしまった方など様々な方を看護しています。私は、入院前の生活に戻れるように、生活背景を考えながらケアを行うように心がけています。また、災害看護に興味がありDMATに所属しました。実務経験はありませんが、一人でも多くの人の役に立てるように日々の学習や研修に取り組んでいます。看護師は認定看護師などの資格取得もできるため自分の興味のある分野を極めることができるのも魅力だと思います。

ママにとって貴重な出産・育児を

素敵なものにしてもらえるよう取り組んでいます

社会人入学のため歳の離れた人たちと仲良くできるかなと不安でしたが、同じ夢を持つ仲間として互いに切磋琢磨し合い、楽しい学生生活を過ごすことができました。

先生との距離が近く、アットホームな雰囲気できれいに相談できる点やチャレンジしたいという思いに対して全力で背中を押してくれる点は、3年間過ごす中でとても感じていました。

自分自身が妊娠・出産した際に思い描いていたイメージとギャップが大きく、もっと自分に知識があれば違うかたちのお産ができたのではないかと悔いが残ってしまいました。また、初めての育児で神経質になり、今思えば、うつのような状態になっていた面もありました。自分と同じ思いをしてほしくない!人生に何回もない貴重な出産・育児を素敵なものにしてもらいたい!という思いから助産師を目指すようになりました。現在は助産師として、出産後1週間弱の入院期間に育児技術を身につけなくてはならないママと赤ちゃんが、退院してからの生活に困ることがないようにママの育児技術の習得状況を観察し、全てに手を差し伸べるのではなくサポートが必要な場合かどうかの見極めを大切にしています。



Sさん(47回生) 勤務先:佐野厚生総合病院

普段から健康的な生活を送れるように支援しています

看護学校時代は、医療や看護の知識、看護技術を学ぶため、座学・実技とも大変だったことを覚えています。特に実技は、私自身が不器用なこともあり苦手感じていたので、クラスメイトと放課後に練習をしていました。しかし、大変な思い出だけでなく文化祭ではみんなで協力して出店を開いたり体育祭ではバレーボールやドッチボールの練習をしたりと、とても楽しかった思い出があります。

私は、町役場の児童福祉部で保健師として勤務しています。保健師になろうと思ったきっかけは、実習で辛い思いをする患者さんと接し、病気にならないために普段から健康的な生活を送れるように支援したいと思ったからです。現在、児童虐待対応や子どもがいる家庭の相談への支援をしています。虐待関係については、自宅に訪問するといったイメージを持たれないこともあり関わり方に難しさを感じることもありますが、関係部署や児童相談所と協力しながら日々の対応をしています。また、小さな町ですので、夏祭りや防災訓練などの各種行事に運営側として従事することもあり、大変なこともありますが楽しみながら仕事をしています。



Iさん(43回生) 勤務先:明和町役場

修学資金・奨学金制度

邑楽館林医療企業団 看護師修学資金

公立館林高等看護学院を卒業(免許取得)後、公立館林厚生病院に看護師として就業する意思がある方を対象とする貸付制度です。(入学後選考があります。)

※本学院卒業後、看護師免許を取得し修学資金貸付を受けた期間に相当する期間、公立館林厚生病院に勤務した場合は返済が免除されます。ただし、当制度は公立館林厚生病院への就職を保証するものではありません。

貸付金額

月額 30,000円

館林市邑楽郡医師会 看護師修学資金

公立館林高等看護学院を卒業(免許取得)後、館林市及び邑楽郡内の医療機関に看護師として就業する意思がある方を対象とする貸付制度です。

※本学院卒業後、看護師免許を取得し修学資金貸付を受けた期間に相当する 期間、館林市及び邑楽郡内の医療機関に勤務した場合は返済が免除されます。

貸付金額

月額 15,000円

群馬県 看護師等修学資金

公立館林高等看護学院を卒業(免許取得)後、群馬県内の所定の施設に看護師として就業する意思がある方を対象とする貸付制度です。

※本学院卒業後、看護師免許を取得し5年間継続して、群馬県内の所定の施設に勤務した場合は返済が免除されます。 ※詳細は、「群馬県」ホームページの「看護師等修学資金貸付制度」をご覧ください。

貸付金額

月額 32,000円

日本学生支援機構 奨学金

国の重要な教育事業として実施されている日本学生支援機構の奨学金貸与事業は、有利子貸与型、無利子貸与型、給付型の奨学金があります。この奨学金の利用を希望する場合は、高等学校等在学中に予約採用手続きをされることをお勧めします。

※詳細は、「日本学生支援機構」ホームページをご覧ください。

学生納付金

	1年次	2年次	3年次
入学金	100,000円		
授業料	400,000円	400,000円	400,000円
設備・資料	15,000円	15,000円	15,000円
学校保険代	2,580円	2,580円	2,580円
合計	517,580円	417,580円	417,580円

その他初年度にかかる費用

●教科書代：160,000円程度 ●ユニフォーム代：60,000円程度 ●その他の教材費：40,000円程度
※費用は変動することがあります。

その他の費用

●健康診断・予防接種代：30,000円程度(3年間)
●実習にかかる交通費・宿泊費は自己負担となります。



🚗 東北自動車道 館林I.C.から約15分



🚆 東武伊勢崎線 館林駅から車で約15分


 邑楽館林医療企業団
公立館林高等看護学院



〒374-0043 群馬県館林市苗木町2497-1 ☎ 0276-73-7175 📠 0276-73-6021 ✉ info@tatekan.ac.jp 🌐 <https://www.tatekan.ac.jp/>